

## 農業資材価格調査報告書

農業の国際化やTPP発効を控え、国内農業の体質・国際競争力の強化に向け、社会的経済的な条件の違いから生じるコスト構造、特に生産資材の末端価格の違いを明らかにし、我々日本農業法人協会会員の生産資材購入価格の基準明確化と生産資材費の低コスト化を実現するため、韓国金泉市の農協、農機販売店、農家等を訪問して、農業者目線で資材の販売価格、併せて米の流通状況について調査を行った。本調査の調査結果は以下のとおりである。

### 記

1 日 程 平成 28 年 7 月 4 日（月）～6 日（水） 2 泊 3 日

2 場 所 韓国慶尚北道金泉市（ソウルから約 250km 南部）

### 3 調査先（調査内容）

金泉農協 農資材販売店（肥料・農薬）  
クッチェ農機代理店（農機）  
デドン農機代理店（農機）  
米穀総合処理場 RPC（流通）  
金泉市水稻生産者（ヒアリング）  
金泉農協ハナロマート（米価等）

### 4 調査者

笠原節夫 副会長兼情報戦略委員長  
近藤一海 副会長兼政策提言委員長  
齋藤一志 前山形県農業法人協会会長  
事務局



## 5 調査結果

### (1) 肥料

日本と韓国で販売されている9種類の肥料（配合が同等もしくは近い肥料を選定）の販売価格の比較を行った（表1）。韓国での肥料販売価格は、平均で日本の半分程度であった。

表1 肥料販売価格の日韓比較

No.	日本(円/20kg)							韓国(円/20kg)					
	種別	肥料名	N	P	K	その他	価格	肥料名	N	P	K	その他	価格
1	追肥	NK化成50号	15	0	20	0	2,020	맞춤주비 30호(オーダー追肥30号)	17	0	14	苦土、ホウ素	684
2	追肥	NK化成17号	17	0	17	0	2,063	18-0-16	18	0	16	0	767
3	単肥	輸入尿素(大粒)	46	0	0	0	1,829	요소(尿素)	46	0	0	0	846
4	単肥	硫安(圧ベン)	21	0	0	0	1,170	유안(硫安)	21	0	0	硫黄24	544
5	園芸用	果樹複合(粒)	12	5	10	0	2,990	슈퍼원예(スーパー園芸)	12	6	8	苦土2%、ホウ素0.2%	958
6	一発肥料	水稲一発省コート211	20	10	10	0	3,080	파워롱스타(パワーロングスター)	19	10	10	苦土1%、ホウ素0.1%	1,748
7	一発肥料	じかまき君	22	14	14	0	4,025	일회만290(イルフエマン290)	22	9	10	苦土1%	1,920
8	一発肥料	楽農一発肥料 果菜類用	18	10	10	苦土3%	3,080	단한번(タンハンボン)	18	7	9	苦土2%	1,851
9	土壌改良剤	DL消石灰	-	-	-	アルカリ72	713	과립생석회(顆粒生石灰)	-	-	-	アルカリ80	419

※韓国価格は1ウォン=0.093円で換算（H28/4-6 平均レート）

※価格は税込（日本8%、韓国10%）。

※日本価格は法人協会会員の中で注文書入手することが出来た国内7農協（平成28年度用）及び1ホームセンターの価格を平均で算出

※韓国価格は金泉農協の価格を記載

※N：チツソ、P：リン、K：カリウム

○韓国の肥料価格については、農協が農業者から予約注文を取りまとめ、農協中央会がメーカーと価格を決定しているため、卸売価格は地域による価格差がない（化成肥料は農協の取扱が90%を占める）。

○韓国では日本よりも窒素成分が高い高度化成が一般的で、複合化成及び一発肥料では、微量要素の配合も一般的である。日本のような地域独自銘柄はなかった。

○粒ぞろいが悪いなどの問題は特になかった。

○農協等が受け取るマージンが10%以下と低く設定されている。

○肥料の価格差が現れる要因として以下のものが考えられる。

- ・日本と比較して卸・特約店がなく、多段階輸送も少ないなど流通構造がシンプルである。
- ・韓国は生産する肥料銘柄を絞っており、少品種大量生産により生産性が高い。
- ・日本はNPKの各成分量がそれぞれ保証成分量を超えていなければならないが、韓国はNPKの成分の一部が保証成分量を下回っていても、NPKの成分の合計量が保証成分量を超えていれば良い。

## (2) 農薬

日本と韓国で販売されている 15 種類の農薬（成分および含有率が同等もしくは近い農薬を選定）の販売価格の比較を行った（表 2）。韓国での農薬販売価格は平均で日本の三分の一程度であった。

表 2 農薬販売価格の日韓比較

No.	種類	日本				韓国		
		農薬名	有効成分	規格	日本価格	農薬名	有効成分	韓国価格
1	除草剤	マーシエット乳剤	ブタロール32.0%	500ml	1,339	마세트300(マセツト300)	ブタロール33.0%	523
2	除草剤	マーシエット粒剤5	ブタロール5.0%	3kg	1,512	마세트(マセツト)	ブタロール5.0%	381
3	除草剤	エリジャン乳剤	プレチラクロール12.0%	300ml	980	슬네트(ソールネット)	プレチラクロール14.0%	314
4	除草剤	ワイドアタックSC	ヘノキスラム3.6%	100ml	3,060	살초대첩(サルチョ大勝)	ヘノキスラム3.0%	1,349
5	殺菌剤	フジワシ粒剤	イソプロチオラン12.0%	3kg	2,221	후치왕(淵の王)	イソプロチオラン12.0%	744
6	殺菌剤	リミル粒剤2	メタキシル2.0%	3kg	3,466	도미노(ドミノ)	メタキシル2.0%	907
7	殺菌剤	スポルタック乳剤	プロクロラス <sup>25</sup> 25.0%	100ml	2,081	스포탁(スポタック)	プロクロラス <sup>25</sup> 25.0%	419
8	殺菌剤	スターナ水和剤	オキシロニック酸20.0%	500g	4,496	일품(一品)	オキシロニック酸20.0%	5,115
9	殺菌剤	トップジンM水和剤	チオファネートメチル70.0%	500g	2,221	지오판(アリジオパン)	チオファネートメチル70.0%	525
10	殺菌剤	ハリダシン液剤5	ハリダマイシン5.0%	500ml	1,540	올품(オルプン)	ハリダマイシン5.0%	395
11	殺虫剤	ガゼット粒剤	カルボスルファン3.0%	3kg	3,175	후라단(フラワ一段)	カルボスルファン3.0%	558
12	殺虫剤	アルハリン顆粒水溶剤	ジノテフラン20.0%	500g	4,126	팬텀(ファントム)	ジノテフラン20.0%	2,418
13	殺虫剤	スタークメイト液剤10	ジノテフラン10.0%	500ml	2,964	오신(ようこそ)	ジノテフラン10.0%	2,418
14	殺虫剤	アトマイヤー水和剤	イミダクロプリド <sup>10</sup> 10.0%	500g	4,189	코니도(コニド)	イミダクロプリド <sup>10</sup> 10.0%	2,186
15	殺虫剤	アトマイヤーCR箱粒剤	イミダクロプリド <sup>1.95</sup> 1.95%	1kg	2,281	코니도(コニド)	イミダクロプリド <sup>2.0</sup> 2.0%	907

※価格は税込（日本 8%、韓国 10%）。韓国価格は 1ウォン=0.093 円で換算

※韓国の農薬販売価格は、日本の規格（量目）に合わせ換算

※成分が完全一致しないものは近似しているものを比較

※日本価格は法人協会会員の中で注文書を手続きすることが出来た国内 7 農協（平成 28 年度用）、インターネット価格及び 1 ホームセンターの価格を平均で算出

※韓国価格は金泉農協の価格および当協会会員が別途行った調査価格を記載

○韓国はジェネリック農薬の使用比率が高いと聞いている。ジェネリック農薬の登録は、韓国では簡単に取得できるが、日本では新規農薬と同様に複数の試験をクリアしなければならず多大な試験費用が発生する。

○農薬価格は、各地域の農協が農薬メーカーに直接発注をするため若干の地域差がある。農協以外の街中の販売店とほぼ同じ価格である。

○近年日本で流通している混合剤は韓国でも流通しているが、日韓両国で同一成分、同一含有量のものはなく、今回の価格比較の対象外とした。

○韓国は、農薬について政府が各地域の主な農薬の価格調査を行い、インターネットで公表するなど、生産者に対して価格がオープンになっている。

### (3) 農業機械

クボタ、ヤンマーの農機の日本での小売価格、クボタの農機の韓国での小売価格、デドン、クッチェの小売価格の比較表は表3の通り。

表3 農機希望小売価格の日韓比較

トラクター		クボタ(日本)	ヤンマー	クボタ(韓国)	デドン	クッチェ	
54-57 馬力	型式	SL54H	YT357J	L54C	RX570PSC	Luxen560-QP	
	馬力	54馬力	57馬力	56馬力	57馬力	56馬力	
	価格	本体	7,252千円	7,495千円	4,836千円	4,646千円	3,943千円
		ロータリー			700千円	700千円	700千円
	合計	<b>7,252千円</b>	<b>7,495千円</b>	<b>5,536千円</b>	<b>5,346千円</b>	<b>4,643千円</b>	
		<b>100%</b>	-	<b>76.3%</b>	<b>73.7%</b>	<b>64.0%</b>	
100 馬力	型式	M100G	YT5101	M2957	PX1000PSC	Luxen100ES(JD)	
	馬力	100馬力	101馬力	100馬力	100馬力	100馬力	
	価格 (ロータリー無)	<b>9,781千円</b>	<b>10,519千円</b>	<b>7,468千円</b>	<b>6,934千円</b>	<b>6,631千円</b>	
		<b>100%</b>	-	<b>76.4%</b>	<b>70.9%</b>	<b>67.8%</b>	
コンバイン		クボタ(日本)	ヤンマー	クボタ(韓国)	デドン	クッチェ	
5条	型式	ER575	YH470	ER575 ※未発表	DXM85G-CB	KC87-CX	
	馬力	75馬力	70.6馬力	75馬力	85馬力	85馬力	
	価格	<b>11,664千円</b>	<b>10,649千円</b>	<b>7,395千円</b>	<b>6,798千円</b>	<b>6,324千円</b>	
		<b>100%</b>	-	<b>63.4%</b>	<b>58.3%</b>	<b>54.2%</b>	
6条	型式	ER6100	AGR6100R	ER112	DXM110G-C	KC105-CX	
	馬力	100馬力	100馬力	110馬力	100馬力	100馬力	
	価格	<b>14,364千円</b>	<b>13,338千円</b>	<b>12,509千円</b>	<b>8,928千円</b>	<b>7,319千円</b>	
	<b>100%</b>	-	<b>87.1%</b>	<b>62.2%</b>	<b>51.0%</b>		

※価格は税込（日本8%、韓国10%）。韓国価格は1ウォン=0.093円で換算

※日韓いずれもキャビン付仕様（トラクターは水平制御付）

※日本価格は、両社ホームページより最廉価価格を抜粋（H28.7時点）

（クボタ：<http://www.jnouki.kubota.co.jp/>）（ヤンマー：<https://www.yanmar.com/jp/agri/>）

※韓国価格は、各社価格表より抜粋（クボタ ER575 は今秋導入予定で価格は現地農家を通じたディーラーからのヒアリング）

※大型農機の環境性能は日韓で同等ではない。

○クボタの農機（トラクター、コンバイン）は、日韓を比較すると、馬力や寸法等が少し異なり、タイヤ等も異なるものであるため、厳密な比較は困難であるが、韓国の販売価格の方が13%~37%安い。

○トラクターにつき、クボタと韓国メーカーを比較すると、韓国製が26%~36%、同様にコンバインは、韓国製が38%~49%安い。コンバインについては日本製が各種電子制御機能のついた最新仕様機を導入しているのに対し、韓国製は、比較的機能がシンプルであることが価格差の要因であると考えられる（クボタ韓国も食味・収量センサー付仕様は導入していない）。

○海外メーカーとの技術提携により生産が本格化し、年々技術力は向上している。また、輸入農機の一部（タイヤ等）を韓国国内で調達するなど、コストダウンの工夫をしている。

#### (4) 米の流通

韓国では主に生産されている米の品種数が少ないため一概に比較できるものではないが、米の流通において、韓国では各生産地域に整備された米穀総合処理場（RPC）が、生産者から生粳を買取り、乾燥・脱穀・精米から白米の袋詰めまで行ったうえで、スーパーへ販売している。

#### 6. 総括

本調査で明らかになった、農業生産資材・機械費の低減に関する要点は以下の通りである。

- ① 資材（農薬）価格は、農業者の経営判断に資するように、政府による見える化が行われている。
- ② 資材（肥料・農薬）流通において農業者団体は、銘柄を絞った大量購買による競争原理の導入やメーカーからの直接購買に加え、低いマージン設定を行っている。この結果、生産者が入手できる価格が日本よりも安くなっている。
- ③ 資材（肥料）登録では、肥料管理法による規制があるが、日本に比べて規制は緩く、価格低減につながっている。
- ④ 資材（農薬）登録では、農薬管理法による規制があるが、ジェネリック農薬の登録は簡単にでき、価格低減につながっている。
- ⑤ 資材メーカーは、農業者団体の調達や政府の見える化で競争原理が導入されているため、規格・ロットの集約により生産性が高く、合理的な構造となっている。
- ⑥ 農業機械は、基本仕様がシンプルで型式数が少ないうえ、汎用的な部品は低コスト部品が導入されるなど、販売価格の低減が図られている。

以上

◀韓国調査写真▶

○肥料を確認する様子



○農薬等を販売する農協販売店



○農機販売店視察の様子



○RPC の内部

